

取扱説明書

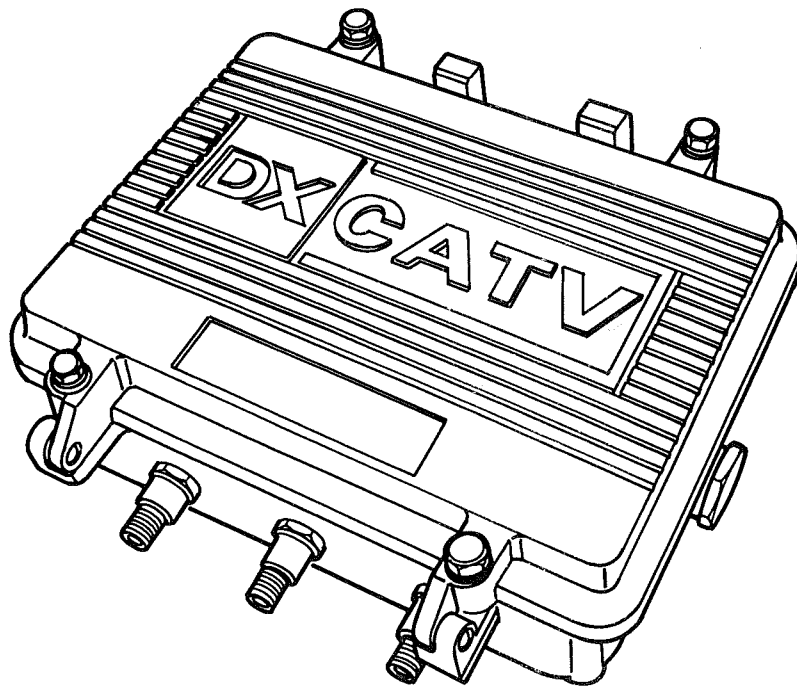
このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



共同受信位相調整器

CPCY-UA



製品の特長

- UHF帯の全帯域で使用できます。
- 別売の共同受信位相差アンテナ「DGS25-UAY」と組み合わせて使用することにより、妨害波を軽減することができます。
- 位相調整ツマミにより、ヌルポイントを連続的に可変することができます。
- バランス調整用アッテネータ内蔵。左右のアンテナの受信レベルのバランスを調整することにより妨害波除去レベルを容易に改善できます。
- 防水性に優れた、高耐久性アルミダイカストケースを採用しています。

安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行ってください）が描かれています。



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。
- 不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- この製品を煙突の付近や高温になる場所には設置しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。
- この製品は、非通電形です。電流を通過（同軸ケーブルを通して、この製品の出力側から入力側の前段のブースタに電流を送るなど）させないでください。回路がショートして、火災や感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、この製品に触れないでください。感電の原因となります。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

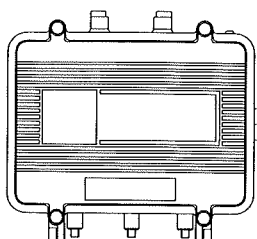
- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。
- この製品に接続する同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 取り付けネジや、ボルトや接栓は、指定している力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、けがや故障の原因になることがあります。



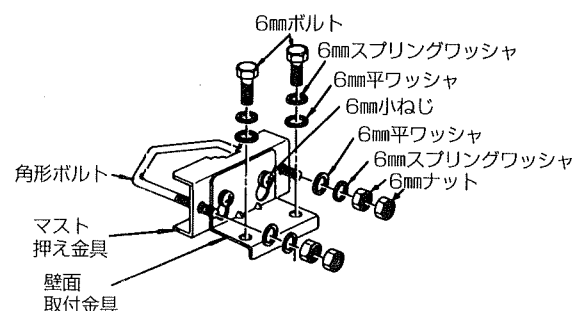
お取扱の前に

- 取付、接続作業はこの取扱説明書をよくお読みのうえおこなってください。
- 本体を落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えないよう注意してください。
- 屋根の上などに取付ける場合、本体が落下しないよう、安全性と安定性を十分考慮してください。
- 取付けの際、ネジ類は工具を用いて強固に取り付けてください。

製品構成



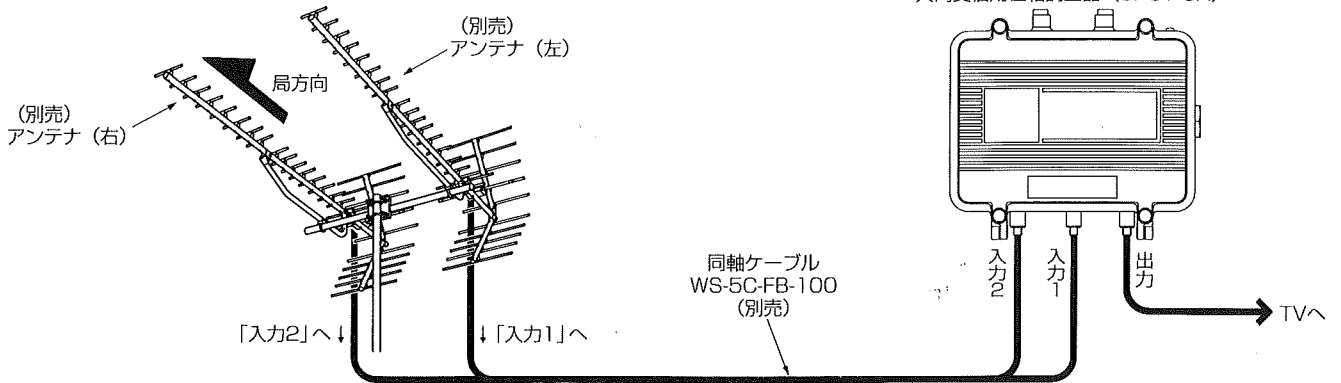
位相調整器本体 1台



取付金具 1式

接続例

別売の共同受信位相差アンテナ (DGS25-UAY) を用いたときの接続例



局方向に向かって右側のアンテナを共同受信位相調整器の「入力2」へ、左側のアンテナを「入力1」へ接続してください。この場合、位相調整器の位相調整つまみを右方向(時計まわり)に回転させると、ヌルポイント(電波を受信しない点)は右方向に、左方向(反時計まわり)に回転させると、ヌルポイント(電波を受信しない点)は左方向に移動します。同軸ケーブルの入力1、入力2を反対に接続した場合は、位相調整つまみとヌルポイントの動きが説明文と反対になりますので注意してください。

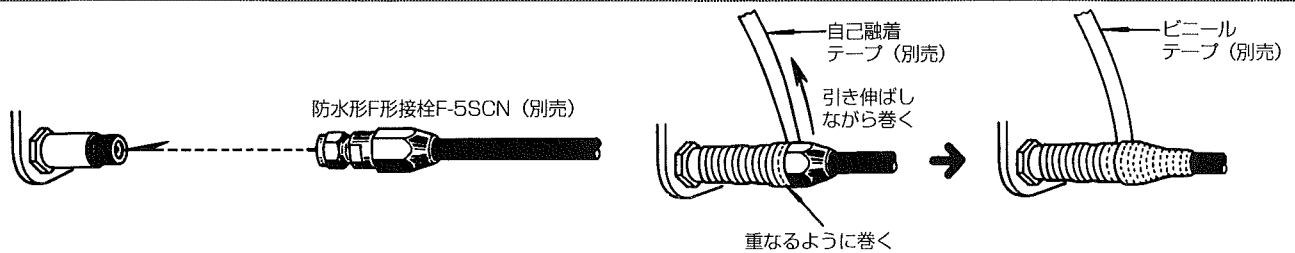
接続には、別売の同軸ケーブル「WS-5C-FB-100」及び接栓「F-5SN」又は防水形F形接栓「F-5SCN」を使用してください。

<注意!!>

アンテナと共同受信位相調整器の間の2本の同軸ケーブルは、必ず**同じ長さ**にしてください。2本の同軸ケーブルの長さの差が10mm以上になりますと、このアンテナシステムの性能が正常に発揮できなくなりますので注意してください。

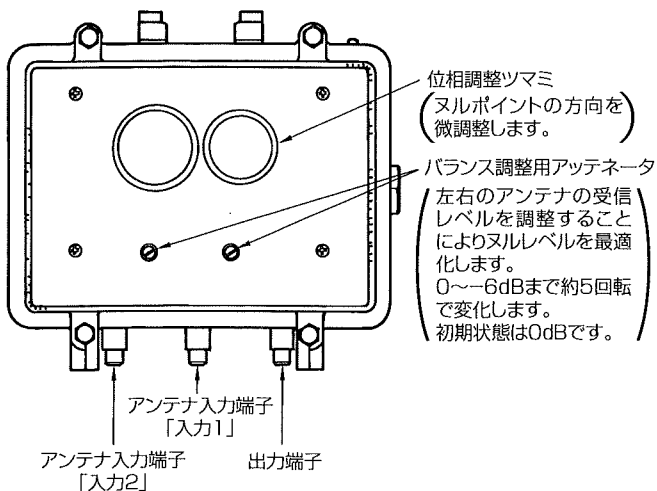
○別売の同軸ケーブル「WS-5C-FB-100」は、2本の同軸ケーブルが1本に束ねてあり、また、ケーブルに目盛が表示されていますので、長さの調整が簡単におこなえます。

接栓の防水方法



図のように接栓をユニットに接続し、別売の自己融着テープ・ビニールテープで防水をしてください。自己融着テープ・ビニールテープは指でよく押さえ、融着を促進させてください。

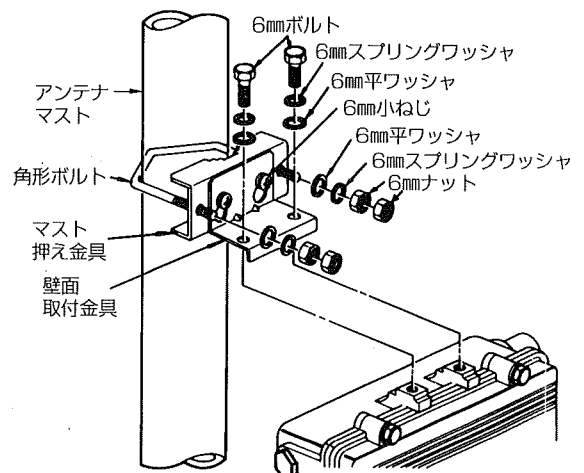
各部の名称



<注意!!>

バランス調整用アッテネータは、必ず小形の調整ドライバーで操作してください。また、5回転(手ごたえのある位置)以上回転させると、破損することがありますので十分注意してください。

アンテナマストへの取付方法



図のように位相調整器本体に壁面取付金具を取り付けた後、マスト押え金具と角形ボルトでアンテナマストにしっかり締めつけてください。

使用方法

- ①妨害波到来角にあわせたスタック間隔にアンテナを設置してください。
(詳しくは「DGS25-UAY」の取扱説明書をご覧ください。)
- ②接続例の通り結線してください。
- ③位相調整ツマミを「0」の位置に合わせてください。
- ④受信レベルが最大となるようにアンテナの方向を調整してください。
- ⑤TV等で受信画像を確認しながら、障害が最小となるように位相調整ツマミを調整してください。
●位相調整ツマミを右にまわすとヌルポイントは右方向(時計回り)に左にまわすと左方向(反時計回り)に移動します。
- ⑥片方のバランス調整用アッテネータを徐々に回し障害がさらに少なくなるように調整してください。このとき効果が得られない場合は、アッテネータを一度0にもどし、もう一方のバランス調整用アッテネータを同じように操作してください。
- ⑦受信画像が最良となるよう⑤⑥を数回くり返してください。
- ⑧調整後、本体のフタを閉め4ヶ所のボルトを規定トルクで締め付けてください。(締付トルク5~5.5N・m)

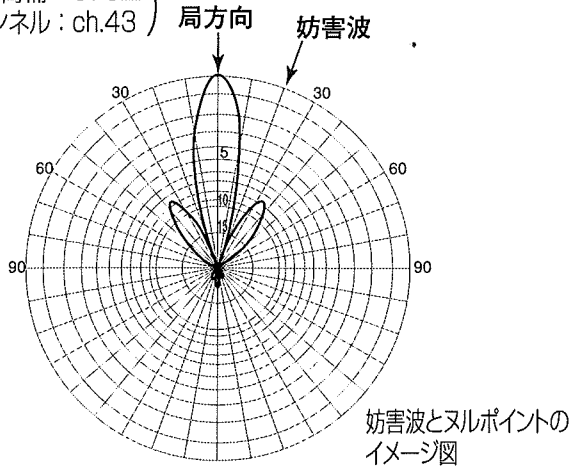
<注意!!>

- 位相調整ツマミは通常0±3目盛以内で障害が最も軽減されます。(3目盛以上回すと画質が劣化することがあります) 3目盛以上回す必要がある場合は、スタック間隔が最適でないことがありますので希望波と妨害波の角度を再度調査し、スタック間隔を調整してください。
(スタック間隔については「DGS25-UAY」の取扱説明書をご覧ください。)
- バランス調整用アッテネータは必ずどちらかが0の状態に調整してください。
- 障害の程度や状態によっては、障害を完全に排除できなかったり、改善できないことがあります。

参考

局方向右側20度から妨害波到来の場合

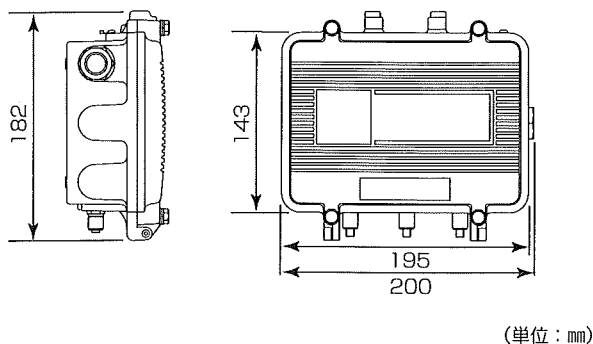
(アンテナ間隔: 670mm)
(受信チャンネル: ch.43)



この位相調整器は位相差アンテナ (DGS25-UAY) と合わせて使用することにより、妨害波到来方向に電波を受信しない点 (ヌルポイント) を発生させ、妨害波を排除します。
スタック間隔を調整することにより、排除したい妨害波到来方向にほぼ等しくヌルポイントが発生させることができますが、位相調整ツマミにより、さらにヌルポイントの方向を微調整することができます。

例) 43チャンネルを受信していて局方向右側20度から妨害波が到来する場合アンテナ間隔を670mmに設定することにより、約20度方向にヌルポイントが発生させることができます。
(左図参照)
さらに位相調整ツマミにより、ヌルポイントを最適な方向に微調整することができます。

外形寸法図



(単位: mm)

規格特性

品名	共同受信用位相調整器
品番	CPCY-UA
使用周波数 (MHz)	470~770
インピーダンス (Ω)	75 (F形)
挿入損失 (dB)	6.3以下 (バランス調整0dBのとき)
端子間結合損失 (dB)	18以上
V S W R	2以下
位相可変範囲 (°)	0±75
バランス調整範囲 (dB)	0~-6
質量 (kg)	約1.6

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|------------------------------|
| ・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代) | ・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代) | ・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代) | ・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代) |
| ・東北支店 TEL.(022)243-2141(代) | ・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代) | ・富沢支店 TEL.(076)261-9988(代) | ・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代) |
| ・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代) | ・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代) | ・金山営業所 TEL.(076)422-7878(代) | ・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代) |
| ・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代) | ・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代) | ・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代) | ・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代) |
| ・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代) | ・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代) | ・近畿システム営業所 TEL.(06)6304-5658(代) | ・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代) |
| ・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代) | ・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代) | ・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代) | ・大分営業所 TEL.(097)558-7235(代) |
| ・多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代) | ・中部支店 TEL.(052)771-5106(代) | ・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代) | ・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代) |
| ・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代) | ・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代) | ・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代) | ・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代) |
| ・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代) | ・岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代) | ・広島支店 TEL.(082)237-5331(代) | ・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代) |

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)

(2003年3月現在)